

# 第6回成果報告会 プログラム

期日：平成 25 年 1 月 27 日(日) 13:00-17:30 会場：東京大学小柴ホール（東京都文京区本郷 7-3-1）  
 主催：NPO 法人富士山測候所を活用する会  
 後援：一般財団法人新技術振興渡辺記念会、三井物産株式会社、日本郵便株式会社、東京理科大学総合研究機構 山岳大気研究部門  
 13:00 開会宣言 小林 拓（第 6 回成果報告会 実行委員長） 開会挨拶 畠山 史郎（NPO 法人富士山測候所を活用する会 理事長）

## 13:00-14:00【オールセッション1】教育・高所医学

ID	タイトル	発表者・所属
O-01	富士山頂実験室	佐藤 元 (一般社団法人日本気象予報士会 気象実験クラブ)
O-02	「理科準備室へようこそ」—富士山頂での教材開発—	古田 豊 (立教学院立教新座中学校・高等学校)
O-03	富士山頂短期滞在時の安静および運動の動脈系血行動態に及ぼす影響に関する研究	岡崎和伸(大阪市立大学) 堀内雅弘(山梨県環境科学研究所)、浅野勝己(筑波大学名誉教授)

## 14:00-14:10 コーヒーブレイク

## 14:10-15:30【オールセッション2】永久凍土・雷・放射線・大気電気

O-04	富士山の永久凍土再発見と今後の研究展望	池田 敦(筑波大学) 若花 剛(アラスカ大学)、末吉哲雄(海洋研究開発機構)
O-05	富士山測候所山麓から流れる雷観測電流対策	安本 勝、高橋浩之(東京大学)、佐々木一哉(東海大学)、中村安良(茨城県立土浦工高)、大胡田智寿、土器屋由紀子(富士山測候所を活用する会)
O-06	宇宙線被ばく線量評価の信頼性向上を目的とした富士山での放射線測定	矢島千秋 (放射線医学総合研究所)
O-07	富士山山頂における大気電気研究~高エネルギー放射線から高高度放電現象まで	鴨川 仁 (東京学芸大学)

## 15:30-15:40 コーヒーブレイク

## 15:40-16:40【オールセッション3】大気化学 ID

O-08	富士山頂の大気中二酸化炭素濃度の通年観測	野村渉平、向井人史、寺尾有希夫、野尻幸宏 (国立環境研究所 地球環境研究センター)
O-09	日本の自然環境保全のための富士山頂を利用した越境酸性雨観測事業：観測の高度化と精密化を目指して *平成 24 年度年賀寄附金配分助成事業	竹内政樹、宮崎祐樹(徳島大学) 大河内博、緒方裕子、磯部貴陽(早稲田大学)、皆巳幸也(石川県立大学)、畠山史郎(東京農工大学)
O-10	エアロソルの新粒子生成、成長と雲凝結核に関する研究	三浦和彦、上田紗也子、永野勝裕(東京理科大学) 小林 拓(山梨大学)、加藤 俊吾(首都大学東京)

## 16:40-16:50 閉会挨拶 渡邊 豊博（NPO 法人富士山測候所を活用する会 専務理事）

## 16:50-17:30【ポスターセッション】

ID	タイトル	発表者・所属
P-01	地球大気環境保全に向けた 富士山測候所の戦略的活用計画：「東アジア高所大気化学観測拠点としての富士山測候所の再生」*平成 22—平成 25 年度三井物産環境基金活動助成	畠山史郎 (富士山測候所を活用する会)
P-02	夏季の富士山頂におけるオゾン・一酸化炭素の年ごとの比較	加藤俊吾(首都大学東京)
P-03	富士山頂を利用した自由対流圏高度におけるエアロソル—雲—降水相互用の観測	大河内博 (早稲田大学)
P-04	富士山頂、上海および首都圏で同時採取した PM1 の組成と磁気的特徴	米持真一、王効拳、梅沢夏実(埼玉県環境科学国際センター)、大河内博、名古屋俊士、緒方裕子、原田侑己、柳本悠輔(早稲田大学)、城裕樹(さいたま市健康科学研究センター)、Lu Senlin、Zhang Rui (上海大学環境と化学工程学院)
P-05	富士山頂で観測した新粒子生成	長岡信頼、三浦和彦、上田紗也子 (東京理科大学)
P-06	富士山頂で測定した雲凝結核	渡辺彩水、長谷川朋子、三浦和彦、上田紗也子 (東京理科大学)
P-07	富士山太郎坊と山頂におけるエアロソル粒径分布の変動および霧による影響	堀 周、関山 舞、上田紗也子、三浦和彦 (東京理科大学)
P-08	富士山斜面の雲上下で採取した海塩粒子：雲過程による粒子組成への影響	上田紗也子、広瀬雄輝、三浦和彦 (東京理科大学)
P-09	富士山における福島原発事故起因の放射線測定 *平成 24 年度一般財団法人新技術振興渡辺記念会科学技術調査研究助成	鴨川 仁(東京学芸大学) 大河内博、緒方裕子、田原大祐、米山直樹(早稲田大学)、保田浩志(放射線医学総合研究所)、鳥居建男(日本原子力研究開発機構)、土井妙子(国立環境研究所)、久米 恭(若狭湾エネルギー研究センター)、永淵 修(滋賀県立大学)、横山明彦(金沢大学)、土器屋由紀子(富士山測候所を活用する会)
P-10	富士山山頂越冬用気象環境データ記録システムの構築	鴨川 仁、鈴木裕子(東京学芸大学物理科学分野) 藤原博伸(私立女子聖学院高等学校)、稲崎弘次(NEC システムテクノロジー)、岩崎 洋、川原庸照、土器屋由紀子(富士山測候所を活用する会)
P-11	富士山山頂における雷雲発生時における高エネルギー放射線の観測	片倉 翔、御園生諒、池田大輝、鴨川 仁(東京学芸大学物理科学分野)、鳥居建男、杉田武志(日本原子力研究開発機構)、楠 研(気象庁気象研究所)
P-12	富士山山頂における高高度放電観測	鈴木裕子、御園生諒、成高友祐、池田大輝、鴨川 仁 (東京学芸大学物理科学分野)
P-13	標高と放射線—簡易放射線測定器で測った富士山、赤城山および鉄道沿線の環境放射線—	松澤孝男(東京文理学院高等部、放射線医学総合研究所) 布施雅彦(福島高等)、前嶋美紀(株式会社まちゃんねっと)、矢澤正人、玉置晴朗(株式会社設計研究所)、関根恵(東工大)、矢島千秋、保田浩志(放射線医学総合研究所)、高垣徹(株式会社TAC)
P-14	富士山山頂でのスカイコンディション調査	坂本 強(日本スペースガード協会)
P-15	富士山頂における歩行バランスの評価	井出里香(東京都立大塚病院)
P-16	富士登山時の心臓ストレスに対する年輪の影響	高橋達彦、長澤純一(電気通信大学)、笹尾真美、野口いつみ(鶴見大学)、佐藤章悟、大野秀樹(杏林大学)
P-17	富士山測候所で大気中水銀濃度を測ることの難しさ	永淵 修(滋賀県立大学)

## <ポスター/デモ>

P-18	富士山頂実験室	佐藤 元(一般社団法人日本気象予報士会 気象実験クラブ)
P-19	「理科準備室へようこそ」—富士山頂での教材開発—	古田 豊(学校法人立教学院立教新座中学校・高等学校)